日韓友好 TOKYO ドラマフェスタ VOL. 16

―第 56 回　東京私立中学高等学校演劇発表会―

◎＝顧問　○＝生徒　☆＝戯曲集　@＝インターネット

●12 月 27 日（土）　開場　午前 9 時 15 分

1　関東第一高校　9:30～10:30
　○関一ファクトリー　作　『海辺の街から』（60 分）
2　武蔵野中・高校　10:45～11:20
　○松村菜緒　作　『ｒｅｇｒｅｔ（りぐれっと）』（35 分）
3　佼成学園女子中・高校　11:35～12:25
　@珠名小雪　作　『輝石』（50 分）
4　十文字中・高校　12:55～13:55
　☆越智優　作　『七人の部長』（60 分）
5　東京農業大学第一高校中等部　14:10～15:10
　☆畑澤聖悟　作　『生徒総会』（60 分）
6　獨協中・高校　15:25～16:20
　○六川文裕　作　『私、追われてますか？』（55 分）
7　成蹊高校　16:35～17:25
　○演劇部　作　『Ｑ』（50 分）

専門審査員講評　17:35～18:10

●12 月 28 日（日）　開場　午前 9 時 15 分

1　白百合学園　9:30～10:30
　○菊池寛香　原案　大野有希　作　『ｍａｒｂｌｅ』（60 分）
2　日本大学第二中学校　10:45～11:30
　◎宇田川豪大　作　『ジャイアンとパンダ』（45 分）
3　日本大学豊山女子高校・中学校　12:00～12:55
　相楽すぐる　作　『ＣＯＭＰＡＮＩＯＮ　ＤＯＬＬ』（55 分）
4　品川女子学院　13:10～13:55
　@一ノ瀬芽生　作　『真の芯は芯だが針としてしまいがちなのが真』（45 分）
5　玉川聖学院　14:10～15:10
　人見はる菜　作　『聖愛―ありのままの私を愛して―』（60 分）

生徒審査員講評 15:25～　専門審査員講評 16:00～　表彰式　16:45～17:15

２０１４年１２月２７日（土）～２８日（日）

主催 一般財団法人　東京私立中学高等学校協会

会場　京華女子高校講堂

出場校からのメッセージ

◎＝顧問　○＝生徒　☆＝戯曲集　@＝インターネット

●１２月２７日(土)

１　関東第一高校　　○関一ファクトリー　作『海辺の街から』
本作『海辺の街から』は部員 34 名（役者 32 名、スタッフ 2 名）で練り上げてきた作品です。我々は 100 近いエチュードを作りそれらを繋げ一つの作品にします。今回、「世界の痛みや悲しみに無自覚に東京で生きているのではないか」、どうしたら「痛みや悲しみ」を共有できるのかをテーマに創作しました。またこのテーマを掲げた時避けて通れないと考えた東日本大震災について考えを深めるため、福島での合宿や討論会を行いました。まだまだ道半ばであり作品は完成できていませんが発表会に向けて作品を磨いていきたいと考えています。

２　武蔵野中・高校　　○松村菜緒　作『ｒｅｇｒｅｔ(りぐれっと)』
今回、私たちが演じる劇は、とある高校・演劇部で起きた悲劇を基にしたお話です。そこにあるのは、複雑な人間関係、正直に胸の内を明かすことのできないもどかしさ、そして、確かな友情です。和やかで楽しい日常が、あるきっかけから大きく状況を変えていきます。明らかにされる過去、素性不明のコンサルタントを名乗る人物を巻き込みながら死者と向き合った時、そこには境界を超えた絆が生まれてゆくのです。

３　佼成学園女子中・高校　　@珠名小雪　作『輝石』
今回、発表会でやらせていただこうと思っている舞台は、「輝石」という探偵ばかり狙う殺人鬼・アリスという女の子に命がけのゲームに招待されてしまった幼馴染の２人の探偵・石井椋輔・杉本夾・警察官で友人の田中太郎、そして２人の幼馴染の情報屋の金田雪音も石井にアリスのことを調べるように頼まれて巻き込まれてしまうというハラハラ・ドキドキ、心温まるストーリーです。アリスの感情の変化にご注目ください。

４　十文字中・高校　　☆越智優　作『七人の部長』　　【韓国凱旋公演】
みなさんこんにちは。私たちは８月にソウルのアルコ劇場で「全校ワックス」を上演させていただきました。セリフで伝えられない分、身振りや表情・声を大きくと心がけたところ、韓国の高校生たちは熱烈な拍手で応えてくれて、とても感動しました。貴重な機会を与えていただき、部員一同、感謝しています。
今回は新メンバーで「七人の部長」を上演します。生徒会予算会議に集められた７人の部長たちのバトルとそれぞれの思いは…。最後まで楽しんでご覧ください！

５　東京農業大学第一高校中等部　　☆畑澤聖悟　作『生徒総会』
夏の東京私立中学校演劇発表会に参加させていただき賞を頂いたことで演劇に対して興味が湧き、練習にも力が入ってきました。
12 月は合唱コンクールの行事があり、クラスの練習に参加することが多く、全員が揃うことがあまりありませんでした。「限られた時間しかないから集中して練習をしよう！」ということになりました。練習量は少ないですが、全員で練習できる時は集中しました。
また、多くの生徒が参加できるように発表演目は「生徒総会」を選びました。この劇ではキャストがそれぞれ個性を出して演じることを目標にしました。生徒ひとりひとりが与えられた役になりきることを目標に練習してきました。

６　獨協中・高校　　○六川文裕　作『私、追われてますか？』
想像してみて下さい。よく晴れた土曜の昼下がり、青空の下、ポカポカと暖かい太陽の光を浴びながら、あなたが散歩している姿を。気持ちいいですか？　そしたらさらに想像してみて下さい。目の前の道路を銃を突きつけられた運転手の運転するバスが窓全開で中が丸見えの状態で走り過ぎて行くのを。今回はそんなお芝居です。ちなみにこんな状況を想像出来たあなたにはジャックされたバスから幸せをお届け！

７　成蹊高校　　○演劇部　作　『Ｑ』
ただ感受性だけがやたら豊かで、取捨選択なんてそんな器用なことできなくて、とりあえず考えているような顔で悩んでるふりとかしちゃったりして。ただ偶然第二視聴覚室に集まってしまった高校生集団です。バラバラなはずなのに少し似てきてしまった価値観がなんだか妙に心地よかったりして、ときどきどうしようもなく愛おしくなる、そんな劇。成蹊高校演劇部「Ｑ」。精一杯伝えますので溢れるくらいに受け止めて、ばたんきゅう。

●１２月２８日(日)

１　白百合学園　　○菊池寛香　原案　大野有希　作『ｍａｒｂｌｅ』
　ごきげんよう！　白百合学園演劇部です。私たちは今回あてがきでの作品作りに挑戦しました。舞台は我々と同じ中高一貫校の演劇部です。公演がもうすぐに迫る演劇部で起こってしまった問題とは？　問題が問題を呼び、その裏では巨大な陰謀が渦巻いている……かもしれない。そんな愉快なドタバタ友情劇となっています。コメディあり、シリアスありとなっていますので、ぜひぜひ、観にいらしてください。部員一同お待ちしております！

２　日本大学第二中学校　　◎宇田川豪大　作『ジャイアンとパンダ』
　日大二中演劇部です。「ジャイアンとパンダ」。限りない優しさに溢れた、「ドラえもん」の世界を、私たちなりに表現します。この作品に私たちは５月から取り組み、ゆっくりゆっくり熟成させてきました。実はこの脚本は、顧問の宇田川先生にとって１００本目の創作脚本だそうです！　そういえば、たくさんの「大人」たちに混じって、先生もよく言っています。「大切なことは、全部ドラえもんから教わった」。喜んでばかりもいられない明日に向かって、私たちも全力で頑張ります！この作品を通して、何だかわからなくても、ほんの少しでも、優しい気持ちを思い出していただければ幸せです。

３　日本大学豊山女子高校・中学校　　相楽すぐる　作『ＣＯＭＰＡＮＩＯＮ　ＤＯＬＬ』
　こんにちは！　日本大学豊山女子高等学校中学校演劇部です！
　今回のテーマは「愛」です。豊女演劇部みんなでさまざまな「愛」を表現できればと思っています。初挑戦のことばかりで苦労しつつも，ワクワクドキドキしながら頑張りました。
　遠い未来の、宇宙の彼方の、時空を越えた、昔の、今の…こんな話はどうでしょう。人に似たコンパニオンドールと呼ばれるバイオロイドのお話です。

４　品川女子学院　　＠一ノ瀬芽生　作『真の芯は芯だが針としてしまいがちなのが真』
　こんにちは、品川女子学院演劇部です！　みなさんは進路について、不安や悩みを持ったことはありますか？　この作品は、現実的な将来…理想的な夢…幸せはどの未来なんだろうと、悩みながらも自分の道を見つけようとする演劇部員の話です。以前高校生で演じたことのあるこの作品を、今回は中学生だけで演じます！　温かい目で見守っていただければ幸いです。どうぞお楽しみ下さい。

５　玉川聖学院　　人見はる菜　作『聖愛―ありのままの私を愛して―』
　日本のどこかの小さな町に、卒業式が中止となった高校生がいた。それから４年、彼女たちは自分たちの高校の卒業式を企画する。前日、講堂で出逢った一人の高校生とともに着々と進められる卒業式の準備。
　零れ落ちる思い出と本当の想い。そして―。
　玉川聖学院演劇部が全ての人に贈る、やさしくて、あったかくて、大きな愛に溢れた歌。あなたは、あなたのままでいい。「ありのままの私を愛して！」是非ご覧ください！

『日韓友好 TOKYO ドラマフェスタのあゆみ』

2007 年 1 月　ドンシン（東新）女子高校（全羅南道・光州市）　　ソフォクレス『エレクトラ』
2008 年 1 月　キョンファ（京花）女子高校（京畿道・廣州市）　　キム・ジョンスク作『紅柿がなる家』
2009 年 1 月　ヨンドゥンポ（永登浦）女子高校（ソウル特別市）　　ハム・ヒョンシク作『約束』
2010 年 1 月　クァンジュ（廣州）高校（京畿道・廣州市）シン・ユンス作イ・ギボク脚色『エクスペンシヴ・アップル』
2011 年 1 月　キョンファ(京花)女子イングリッシュビジネス高校(京畿道・廣州市)
　　キム・ジョンスク　作　イ・ギボク　脚色　『アカシアの花びらは落ちて』
2012 年 1 月　ソンリン（善隣）インターネット高校（ソウル特別市）　　イ・ヤング　作　『Between, the pages』
2013 年 1 月　チョンジュ（全州）女子高校（全羅北道・全州市）　　イ・ジヒョン　作　『RAINBOW BLOSSOM』

　本会の顧問で全国高校演劇協議会名誉会長でもいらっしゃる内木先生と、社団法人韓国演劇協会とのつながりがきっかけで始まった「日韓友好 TOKYO ドラマフェスタ」。毎年、その年度の韓国＜全国青少年演劇祭＞最優秀校が来日し、素晴らしい作品を上演してきました。韓国代表校公演の後には、生徒実行委員による手作りの「日韓演劇交流会」が行われ、同じ演劇を志す高校生同士、言葉を越えて交流を深めています。都合により来日公演は途切れてしまっていますが、2013 年夏には日大二高、2014 年夏には十文字高校が渡韓して上演。韓国からの来日公演も復活すべく調整中です。

ごあいさつ

本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。16 回目となる「日韓友好 TOKYO ドラマフェスタ（第 56 回　東京私立中高演劇発表会）」です。およそ 10 年間続いた世田谷パブリックシアターから、前回大会は座・高円寺にお世話になりました。そして今回は夏の中学大会と同じ京華学園に会場を移しまして久々の年末開催、寒さを吹っ飛ばす勢いで弾けます。開催にあたりましては、各方面の多大なるご支援をいただきました。特に、照明のシアタークリエイション様には、ひとかたならぬお世話になりました。厚く御礼申し上げます。なお、今年も韓国からの代表校は来日いたしませんが、来年以降の復活を期して交渉を続けております。今大会では、夏休みにソウルの「全国青少年演劇祭」にて招聘公演を行い、熱狂的な支持を受けた「十文字中高」も新しい作品を公演いたします。どうぞお楽しみください。（実行委員一同）

専門審査員

オーハシヨースケ（ＴＡＩＣＨＩ−ＫＩＫＡＫＵ・主宰）、岩田廣明（舞台監督）、ヨシダ朝（俳優）、
友部康志（元・北区つかこうへい劇団所属・俳優）、内木文英（本会顧問）

生徒審査員

拓殖大学第一高校　京華女子高校　ほか

協力

(株)シアタークリエイション、鎌田英之

お手伝い校

京華学園

※プログラムの時間は多少前後することがございます。１～２校分余裕をもってお越しください。

《お客さまへのお願い》
・主催者・該当校顧問から許可のない写真撮影ならびに録画はご遠慮ください。

・フラッシュ撮影は厳禁です。録画も客席後方の定められたスペースからのみとなります。撮影・録画は事前に各校顧問とよくご相談ください。

・場内でのご飲食はできません。校舎１Ｆのラウンジをご利用ください。

・多くのお客さまが気持ちよくごらんいただけますよう、どうかご協力ください。

会場
京華女子中学・高等学校講堂
（都営三田線「千石駅」、
「白山駅」より各徒歩５分）

入場無料

実行委員会連絡先
０３－３９４３－３６５１
（獨協高等学校　柳本）